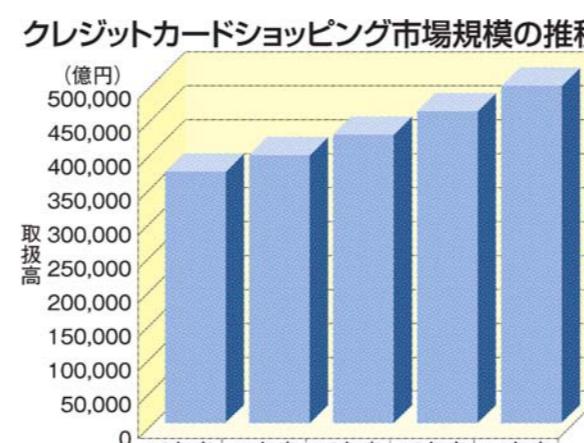
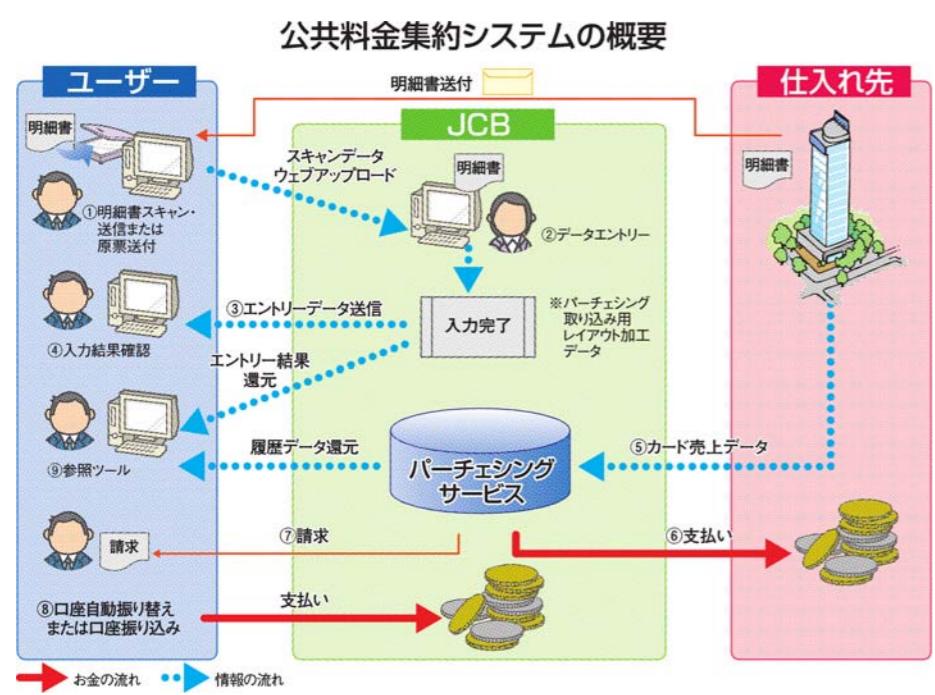
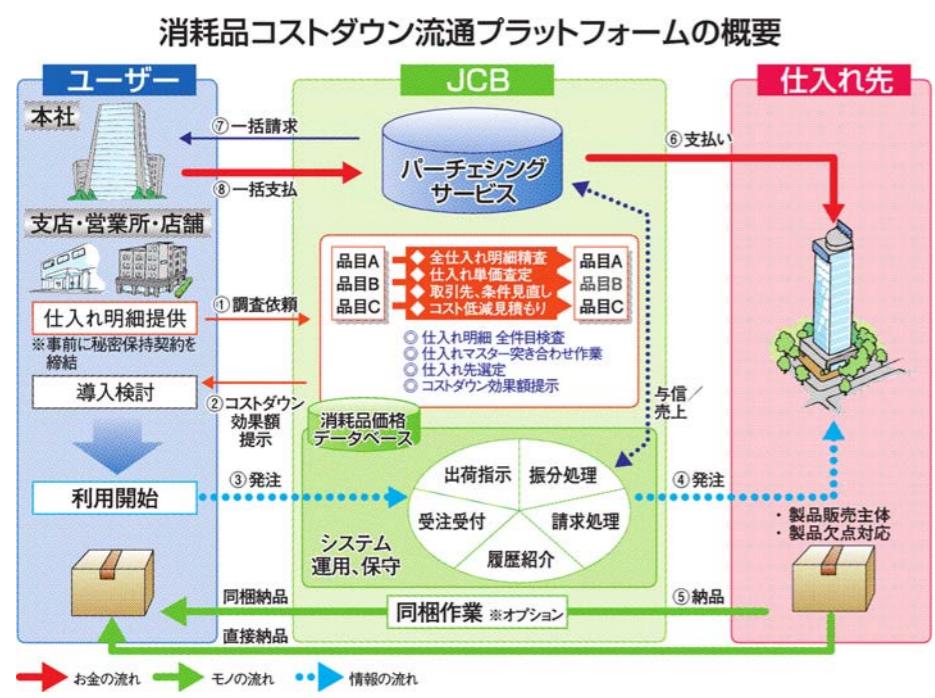


経理業務をスマートに

コードカード



注1: クレジットカード発行元のショッピング取扱高ベース (矢野経済研究所推計から作成)

注2: (予測)は予測値

世界的に経済構造が不安定な状況下で、わが国は安定した経済状況の維持に向け経済政策を打ち出した。企業はコスト削減に重点を置き、経費の無駄を省くことが確実に成果を挙げ、経営力を強化すると期待する。また、業務の効率化は人材、時間の無駄を省くため、求められる業務サービス

「コードカード」は業務をこなす時間の短縮だけでなく、この短期間に技術・製品が生まれる時代に、短期のクオーブルアップされてい

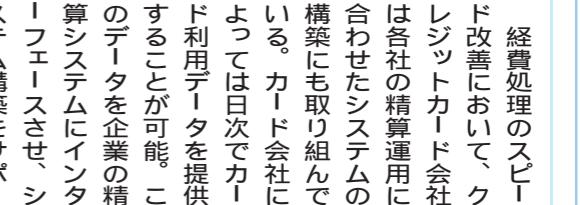
クレジットカードの発行枚数の推移

クレジットカードショッピング市場規模の推移

内部統制の強化に貢献

経費利用の透明性向上

通信回線の高速化、インターネット環境の整備が進み、電子商取引(EC)が活発化している。また、スマートフォン(多機能携帯電話)やタブレット端末(携帯型情報端末)の普及に伴い、ネットがより気軽に使える存在となり、ECの利用率は今後も高まる予想される。この中、決済方法はクレジットカードや銀行振り込み、電子マネーなどが挙げられ、キャッシュレス化の方向に進んでいる。そこで注目されるのが「コードカード」。企業が利用するクレジットカードで、業務効率化、コスト削減の実現に大きく貢献し、利用者も増加している。



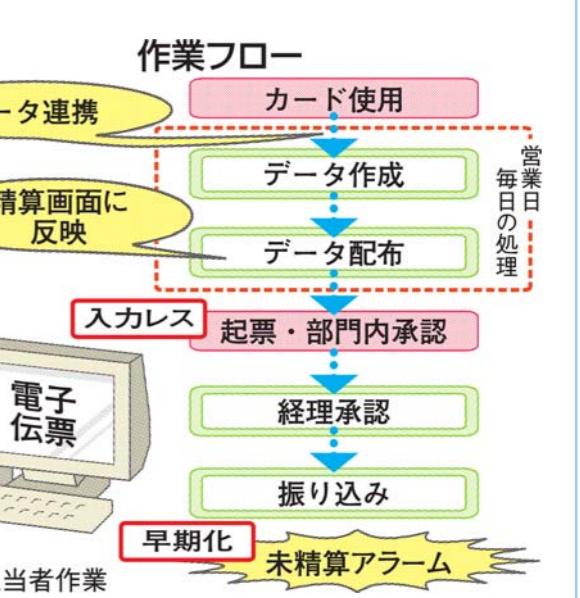
事例紹介

カードの利用データ活用

導入各社に合わせてシステム連携構築

1クリックで精算が簡単に

A社では、交際費や出張費など社員が使う経費が多額な上、精算処理の数だけでなく申請内容の複数回提出もある。そのため、領収書の枚数が膨大になる。その煩わしさから社員は精算を後回しにしてしまった。細かい入力のため、社員が開くパソコンの経費申請画面には、毎日更新され、このデータから経費申請する項目をクリックして選択し、利用摘要などを記入する。このデータから経費の支払い方法は一般的に「立替え払い」として立替え払いが選択される。コードカード利用に伴うメリットである利点となる。



「括して振り込む流れだ。クリック一つで精算項目を選択できるので入力の手間が大幅に削減でき、精算処理の早期化が計れる。また、クレジットカードの利用により利用内容が可視化することで透明度を高め、個人の不正利用も防げる。A社では精算処理が簡略化された。処理スピードは從来より3分の2短縮でき、実際に大きな効果が出ている。

コスト削減効果

リスクを回避

経費処理の効率化とコスト削減にコードカードの役割は大きい。

リスクを回避

経費処理の効率化が図られる。ただし、企業の規定に

リスクを回避

経費処理の効率化が図られる。ただし、企業の規定に